

2025年度事業計画

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

I. 基本方針

アクションプラン 2021-2025 に基づき、Be with all 事業の促進や持続可能な競技会・大会の検討、ユニファイドスポーツ®の普及、組織の基盤強化等を推進するとともに、世界大会トリノへの日本選手団派遣事業や2026年夏季ナショナルゲームの準備等を行う。また、本年は次期アクションプランを策定する。

【 アクションプラン 2021-2025 】

① 事業

<イノベーション事業>

- ・“Be with all”の普及促進
- ・ICTを活用した事業推進

<スポーツ事業>

- ・スポーツ活動の充実
- ・持続可能な競技会/大会の開催

② 組織

- ・組織全体の適正なガバナンスの確保と最適な新組織体制の構築
- ・国内 SO 組織の再定義

③ 経営

- ・経営、財務資源の最適化
- ・人材マネジメント

【SONのミッション、ビジョン】

<ミッション>

知的障害のある人たちに年間を通じて、オリンピック競技種目に準じた様々なスポーツトレーニングと競技の場を提供し、参加したアスリートが健康を増進し、勇気を奮い、喜びを感じ、家族や他のアスリートそして地域の人々と、才能や技能そして友情を分かち合う機会を継続的に提供すること。

<ビジョン>

スペシャルオリンピックス日本は、知的障害のある人々とのスポーツを通じた様々なユニファイド活動により、多くの気づきと行動を生み出します。

ステイトメント: 多様な人々が生きる社会の実現を目指す

スローガン: 「Be with all」

本ビジョンを推進する事業を「Be with all 事業」と称する。

II. 競技会開催事業

1. 2026年第9回スペシャルオリンピックス日本夏季ナショナルゲームの開催準備

本大会は、アクションプランに基づく持続可能な競技会・大会開催に向けての取り組みとして、分散形式の開催とし、自治体、関係団体等との連携を図りつつ、ナショナルゲームのモデルとなるような大会づくりをめざし、準備を進める。本大会は2027年スペシャルオリンピックス夏季世界大会への日本選手団選考を兼ねている。

III. 国際大会への代表選手団の派遣事業

1. 2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ 派遣

【概要】

大会名称：2025年スペシャルオリンピックス冬季世界大会・トリノ
(英語表記: Special Olympics World Winter Games 2025)

開催地：トリノ(イタリア共和国)

開催時期：2025年3月8日～3月15日

- 競技: 3月10日～15日

- 開会式: 3月8日 / 閉会式: 3月15日

参加者：108の国・地域

- アスリート、パートナー 2,500名 - ボランティア: 3,000名

実施競技：8競技 / SO日本選手団は7競技に派遣

アルペンスキー、スノーボード、クロスカントリースキー、スノーシューイング

フィギュアスケート、ショートトラックスピードスケート、フロアボール(ユニファイドスポーツ®)、

ダンススポーツ

日本選手団派遣予定人数: 合計 59名

アスリート/ユニファイドパートナー : 32名

役員/コーチ/医師/スタッフ : 27名

日程:

日程	活動
1月18日(土)	コーチミーティング②
2月8日(土)～10日(月)	合宿③: チーム競技(埼玉県) フロアボール
3月5日(水)	出発(予定)
3月8日(土)～15日(日)	- 練習、予選、開会式、決勝、閉会式
3月18日(火)	- 帰国(予定)、解団式

IV. 知的障害者の地域スポーツ活動振興の拠点となる地区組織等への支援事業

1. 全国代表者会議(地区連絡協議会、スポーツプログラム委員長全国会議)及びブロック幹事連絡会の開催

全国代表者会議をオンラインにて開催し、これらの会議を通じて、SONの事業方針等を全国の地区組織に共有する。また、ブロック幹事連絡会においては、全国6ブロックの幹事地区との情報交換や意見交換を実施し、地区組織の現状を把握するとともに地区組織への施策の検討を進める。

全国代表者会議: 4月19日(土) オンライン形式

ブロック幹事連絡会: 1月、3月、5月、7月、9月、11月に開催予定 オンライン形式

2. 地区組織の認定及び更新、地区組織強化支援

全国 47 都道府県の SO 活動の拠点である地区組織の認定及び更新を行うとともに、認定更新の基準等について検討を行う。スポーツ団体ガバナンスコードの啓発と地区組織での取り組みの推進を行う。

3. スポーツプログラム(SP)委員会及び競技部会活動

SP 委員長会議等の定期開催及び各競技部会の活動を通じて、国内のスポーツプログラムや競技会・大会事業等の充実と普及を図る。また、2026 年ナショナルゲームに向けての競技運営体制等を整備し、事前準備に従事する。

4. 助成

本年度より SO 地域活動振興助成を創設し、地区組織における地域での SO 活動の振興に資する助成事業を行う。

V. 知的障害者のスポーツ参加及び健康増進推進事業

ユニファイドスポーツ®により、知的障害のある人(アスリート)と知的障害のないユニファイドパートナーが共にスポーツに親しむことで、社会におけるインクルージョンの促進に寄与すると共に、Medfest(メドフェスト)等のヘルス分野に加え、医療安全分野を充実させることで、知的障害者の包括的なスポーツウェルネスの向上をめざす。

1. ユニファイドスポーツ®の普及【Be with all 事業】

- ・ ユニファイドスポーツ®の対面イベントやウェビナー等の研修を通じて、ユニファイドスポーツ®の認知訴求と理解促進を図る。
- ・ 小学校等の授業を通じたユニファイドスクールの実施により、SO 以外の知的障害のある児童や、障害のない児童にユニファイドスポーツ®の体験の機会を提供する。

2. 多様なアスリートの参加促進

① アスリートリーダー活動の推進

スポーツ活動以外においても、多様な機会を提供し、アスリートのリーダーシップの充実を図る。

- ・ アスリートリーダー委員会の設置

継続的なアスリートの参画を通じアスリートのエンパワーメントの促進を図るため、アスリート当事者中心の専門委員会として設置する。

【所管事項】

アスリートが関わる事業に関すること、アスリートの権利擁護に関すること、国際的なアスリートの活動に関すること

- ・ その他オンラインを活用したイベント

② 女性アスリート、ジュニア、幼児(ヤングアスリート)等のアスリートの参加促進

③ 障害や加齢等による運動能力の低いアスリート向けの活動内容に関する検討

3. ヘルスケアの啓発と実践

スポーツウェルネス委員会にて、従来のヘルス分野に加え、メディカル分野の充実を図る。

また、メドフェストの展開を通じてヘルシーコミュニティ事業を推進する。

- ・ メドフェストの実施(地区大会、ブロック大会、その他)

※ Medfest(メドフェスト)とは

HAP の1部門であり、メディカルフォームを基にスクリーニングを行い、アスリートやユニファイドパートナーがスポーツを安全に行えるかどうかの確認を行う。メドフェストはアスリートやユニファイドパートナーの入会時のメディカルフォームおよび世界大会のエントリーフォームとしても採用されている。

4. 医療安全の充実

専門委員会スポーツウェルネス委員会を通じて、アスリートやユニファイドパートナーを始めとする SO 関係者が安全にスポーツ活動を行えるよう医療安全面での充実を図る。また、大学や SO 活動経験を持つ医療従事者との連携を図ると共に、次世代の人材確保や育成に繋げる。

VI. ボランティア、指導者、審判員等育成事業

1. 指導者養成

- ・ SON 認定コーチやこれから認定コーチを目指す方を対象に各種研修会を開催すると共に、専門機関や外部講師等との連携を通じて、研修内容の充実や e ラーニングの普及に取り組むものとする。
- ・ コーチクリニック
ゼネラルオリエンテーション・アスリート理解(オンデマンド講習)
競技座学(YouTube 視聴によるオンデマンド講習)、競技実技(対面型講習)
- ・ コーチアカデミー(Coach Development Plans として SOI 助成金を活用し実施)等
- ・ 全国トレーナー連絡協議会
- ・ トレーナー養成講座

2. ボランティア育成

オンラインコーチクリニック等により、知的障害者スポーツ分野のボランティアの育成の機会を広げる。

VII. 広報・啓発事業

1. 資金調達・マーケティング(渉外活動)

事業活動を円滑におこなうための資金調達活動を行うとともに今後の資金調達の在り方を検討する。また、知的障害のある人たちの社会参加への課題を共有し、既存支援企業とともに、スポーツの現場だけではなく社会のさまざまな場面で協働出来る事業を検討していくことにより、共生社会の促進につなげていく。

2. 広報・啓発

「Be with all」の世界観及び活動等を訴求するために、ユニファイド活動を中心にした広報活動を展開する。特に、オンラインを用いた支援企業やパートナー団体との取り組みや、アスリート自身が発信する広報活動を重点的におこない、スペシャルオリンピックスが持つメッセージと「Be with all 事業」の可能性を積極的に発信する。

【Be with all 事業】

- ・ Bリーグとの「Challenge with all」連携事業の促進と普及
- ・ 支援企業、パートナー団体と連携した広報活動
- ・ 「アスリートアンバサダー」をはじめとした、アスリート自身が発信する広報活動の充実
- ・ 産官学モデルの大学との連携事業
- ・ 世界大会日本選手団派遣等、SON 各種事業を通じた広報活動
- ・ 広報活動の新たなチャンネルの展開

3. 外部連携

- ・教育機関等との連携によるユニファイドスクール活動の推進
学校や大学等と連携し、ユニファイド活動を推進することで共生意識への醸成に寄与する。
- ・スポーツ団体等との関係強化
推進競技の普及及び大会開催のために様々なスポーツ団体との連携強化を図ると共に、行政機関、各障害者団体、支援先等との連携をより一層深める。

VIII. 調査研究事業

創立 30 周年記念誌発行記念シンポジウムの開催等。

開催日：2025 年 1 月 25 日(土)

会場：ロイヤルパークホテル(東京都中央区日本橋蛸殻町 2-1-1)

以上